

## 令和5年10月25日開催定例美祢市教育委員会会議録

**開催日時** 令和5年10月25日（水）午後2時00分から午後3時00分

**開催場所** 美祢市役所3階「委員会室」

<b>出席委員</b>	南 順子	教育長	
	金子 明美	教育長職務代理者	
	山本 亜由美	教育委員	
	松本 孝志	教育委員	3人
<b>欠席委員</b>	山田 裕治	教育委員	1人

<b>出席教育委員会事務局職員</b>	千々松雅幸	事務局長	
	宇野 勇気	〃	教育創生監
	岡崎 輝義	〃	教育総務課長
	中島 幹晃	〃	学校教育課長
	野村 一守	〃	生涯学習スポーツ推進課長
	神田 高宏	〃	文化財保護課長兼世界ジグザク推進課長
	大坪 伸彰	〃	学校教育課主幹
	倉増 裕	〃	教育総務課総務班長

8人

**（午後2時00分）**

**開 会**

**事務局長 千々松 雅幸**

皆さんこんにちは。

定刻になりましたので、ただいまより令和5年10月の定例教育委員会会議を開催いたします。

これより進行は教育長よろしく願いいたします。

**教育長挨拶**

**教育長 南 順子**

改めまして皆さんこんにちは。

四季折々雄大な自然のすばらしさ、美しさを堪能させてくれる秋吉台は、今、ススキの季節を迎え黄金色に輝いています。

先日の山口新聞にその絶景が載っており、思わず見入ってしまいました。本当はA3に拡大してお示しするつもりでしたが時間がなくて、こういう感じで今、すてきな季節を迎えております。

さて、本日は局長も申しましたけれど、御多用の中、午前中は大田小学校の学校訪問、そして、午後は引き続きこの10月の定例教育委員会会議にお集まりをいただきまして誠にありがとうございます。

大変慌ただしい一日でございますけれども、どうぞよろしく願いいたします。

先週の金曜日には、明日開催されますサンワーク美祿での山口県市教育委員会協議会研修会での事例発表をお聞きいただき、御指導や御助言を賜りましてありがとうございました。

また、今週は月曜日から毎日学校訪問ということで、学校のほうにお越しいただきいろいろ御助言等いただきましてありがとうございます。

そして、明日はいよいよ研修会でございます。

また、午後からということで、大変お忙しい時お時間を拘束しますがどうぞよろしくお願い出来たらと思います。今、学校ではインフルエンザが蔓延しており学級閉鎖や学年閉鎖の措置をとった又はこれからとっている学校もございます。

朝夕は気温が急に低くなってまいりましたので、お互いにくれぐれも体調には十分気をつけて、本格的な寒さに備えたいものです。

## **署名委員の指名**

### **教育長 南 順子**

それではこれからは着座にて進行させていただきます。

はじめに署名委員の指名をさせていただきます。

本会議につきましては、松本委員と金子委員をお願いいたします。

## **<両名了承>**

## **前回会議録の承認**

### **教育長 南 順子**

続きまして前回会議録の承認につきましては、山本委員と松本委員をお願いいたします。

よろしいでしょうか。

## **<両名了承>**

## 教育長 南 順子

はい、御承認いただけましたので、お願い出来たらと思います。

## 冒頭報告

### 教育長 南 順子

では、続いて教育長報告ということで、行事関係について主なもののみ報告させていただきます。

まず、9月29日、令和5年度美祢市教育功労者表彰式が本庁の応接室で行われ、教育長職務代理の金子委員にも御出席をいただきました。ありがとうございました。

今年度の表彰者は、「げんきみね。」にも出ておりましたけれども、個人が6名、団体が2団体でした。社会教育の振興に尽力された於福町の中原和昭様、生涯スポーツの振興に寄与された大嶺町の佐藤裕様、於福町の惠本益江様、豊田前の福田信義様、美東町の福田隆宏様、秋芳町の末永活己様、団体としては、美東町文化研究会が50年の長きにわたって研究を続けてきたということでその代表の池田善文様、秋芳町地方文化研究会も昭和39年から60年ということで、会長の藏本隆博様に、表彰状をお渡しいたしました。

本当に皆様方のすばらしい御功績に改めて敬意を表したいと思います。

それから、10月19日に令和5年度中国地区都市教育長会定例総会並びに研究協議会のほうに、私が出張させていただきました。

このことにつきましては改めて、11月のときに、復伝をさせていただきたいと思いますので、今日は省かせていただきます。

10月22日、日曜日でございます。この日に、ここには載っておりませんが、後、担当の方から詳しく報告があると思いますが、第16回銅山まつりが長登銅山で開催されました。

この銅山まつりの重要なイベントである古代銅製錬復元実験は日本で唯一、また世界でも唯一の試みと言ってもいいだろうと九大の先生方もおっしゃっておりました。

この美東町を代表するお祭りに毎年美東中の1・2年生が参加してくれており、運営の手伝い、特に2年生は銅の製錬復元実験の最初の窯をつくるための砂をきちんと振るうところから、そして当日も窯に銅を入れたりとかそれからフイゴを踏んだりとか、たくさんのお手伝いをしてくれました。

ガイドのほうも、頑張ってくれておりました。

見ていて本当によく頑張ってくれてすごいなと思いましたけれども、特に感動したのは、後始末を率先してやってくれたおかげで、あっという間に会場が片づきま

した。

やはりふるさと美祢を愛し地域に貢献する子供の育成ということで、しっかり学校のほうでもその辺を子供たちに指導していただいているということを感じありがたく思いました。

それから、10月23日月曜日に綾木小学校区保護者説明会ということで、これもまた後、担当のほうから話があると思いますけれども、美東地域小学校の再編成に関わる、保護者説明会を、いよいよ綾木公民館からスタートしているところでございます。

施設一体型小中一貫教育校の設立は美祢市内では初めての取組でございますが、子供たちの幸せを一番に考え、保護者や地域の皆様にとっても誇れる魅力ある新たな学校をつくるために、美東町民の皆さんや学校、行政がともに協力し合い、様々な立場から知恵を出し合いながら、一丸となって取り組んでいきたいというふうに考えております。

以上、大変簡単でございますが、主な行事関係等、説明させていただきました。もし何か御質問等がありましたらお願いいたします。よろしいでしょうか。

## **議題及び議事**

### **教育長 南 順子**

それではすみません。

次に、まいりたいと思います。

5番の議案でございますが、そこにお示ししておりますように10月はございませんので、次の協議報告のほうに移らせていただけたらと思います。

## **協議報告等**

### **教育長 南 順子**

教育総務課、お願いいたします。

はい、岡崎課長。

### **教育総務課 岡崎 輝義**

(1) 小中一貫教育美東小中学校に関する、追加回答について御説明をいたします。

資料は事前に送付しております教育総務課の資料となります。

美祢市立小中一貫教育校美東小中学校に関する要望書が、令和5年6月9日金曜日に、美祢市立美東中学校育友会会長、大田小学校PTA会長、綾木小学校PTA会長、淳美小学校PTA会長の連名で、市長、教育長あてに提出されました。

要望書の主な内容は、早急に美祢市立小中一貫教育校美東小中学校の施設一

体型へ移行を目指すこと。

実現に時間を要するなどの合理的な理由が示される場合は、令和7年4月に小学部を美東中学校の隣接施設に暫定的に集約すること。

ただし、その場合であっても2から4年以内、令和9年から11年に施設一体型を目指すことでした。

この要望書に対しまして市長と協議した結果を8月10日（木）に、3小学校のPTA役員に資料の1ページから4ページの回答を行い、まずは大田小学校の校舎を活用して、三つの小学校を一つにして新たな小学校の新規設置を進めること、施設一体型については美祢市魅力ある学校づくり検討委員会での議論と並行して協議することで合意いたしました。

しかし、8月22日（火）に要望書に対する回答内容について、美東小中学校学校運営協議会に説明しました結果、施設一体型への早期移行を強く求める声があり、合意に至ることなく終わってしまいました。

その後、市長とも再度協議をした結果が資料5ページの追加回答となります。

10月2日（月）に、改めて美東小中学校学校運営協議会と協議を行いました。資料の5ページの下線部が追加部分となります。

この協議の結果、できるだけ早く、小中一貫教育校美東小中学校の施設一体型を目指し、まずは大田小学校の校舎を活用して、三つの小学校を一つにし、新たな小学校の新規設置を令和7年4月とすることで合意をいたしました。

今後の予定ですが、まずは保護者説明会、既に10月23日に、綾木公民館にて説明会を始めました。

その後、真長田公民館、美東センターで保護者説明会を行う予定としております。

更に、地元説明会を開催した後、開校準備協議会設置要綱と、学校名が決まりましたら、条例改正の議案をそれぞれ教育委員会会議でお諮りしたいと考えております。

また、施設一体型の小中学校につきましては、既存の美東中学校を活用し、増設などを行い、進めていきたいと考えております。

説明は以上です。

## **教育長 南 順子**

ただいまの教育総務課からの説明に対して、御質問や御意見がありましたらお願いいたします。

はい、金子委員さん。

## **職務代理者 金子 明美**

はい、お尋ねなんですけど、美東中を活用してということでしたが、美東中の耐震についてはどのような状況でしょうか。

**教育長 南 順子**

はい、岡崎課長。

**教育総務課長 岡崎 輝義**

耐震化のほうはもう既に終わっております。

以上でございます。

**教育長 南 順子**

よろしいでしょうか。

**教育長 南 順子**

ありがとうございました。

ほかに御質問がございましたらお願いいたします。

よろしいでしょうか。

また、保護者説明会や地域説明会等で順序を踏む中で、いろいろ教育委員さんのほうにもお願い等をお願いするかもしれませんが、どうぞよろしく願い出来たらと思います。

はい。それでは、教育総務課のほうはよろしゅうございますか。いいですか。

はい。続きまして学校教育課のほうに移りたいと思いますが、1番の学校の様子につきましてはちょっと秘密会にしたいと思いますので、その辺り御了解をいただけたらと思います。

よろしゅうございますでしょうか。

**<全員了承>**

**【秘密会議】**

**教育長 南 順子**

それでは秘密会を閉じたいと思いますので、引き続き、学校教育課のほうから、今度は全国学力学習状況調査結果のほうについてお願いします。

はい、中島課長。

**学校教育課長 中島 幹晃**

それでは、2といたしまして、御手元の令和5年度全国学力学習状況調査の結果について御報告します。これはホームページにアップした詳しい資料になります。

以前の教育委員会会議で、速報値については、御説明させていただきましたので、割愛させていただきますけれども、4月の学力調査の結果は、すぐに各学校で自校採点をいたしておりますので、それに対する対応策というのはいま

1学期のうちから始めて、現在も進めているところでございます。

今後、やはり学力向上の本丸は授業改善でございますので、美祢市が小学校を中心に進めておりますけれども、自由進度学習の実践を、縦方向と横方向にしっかり展開していきたいと考えております。

横方向と申しますのは、今小学校の特定の教職員が自由進度学習に取り組んでおりますが、これをしっかりと小学校のほとんどの先生方に横に広げていくこと、それから縦方向というのが小学校から中学校へ、そのよさを広げていくこと。そういったことを進めておるところでございます。

指導主事が各学校の校内研修に入り、直接先生方に語っているところでございますし、11月に先進校でございます広島県の宮園小学校に今年度も視察に参ります。小学校と中学校の教員6名と市教委と一緒に視察に参ります。

特に、今後、力を入れていく必要がある中学校へのサポート、中学校の授業改善・学力向上を市教委としてもしっかりとサポートし、特に学力の格差がつきやすい数学、英語、このような教科につきましては、数学科の教員と一緒に市教委も授業研究をしていく、英語につきましては、大嶺中学校で行われている、スキルアップタイムこれも自由進度的な取組です。

この良さを市内の全中学校に広めていく、あるいは英検の補助をしておりますので、一つの目安として英語の力を英検を利用して段階的につけていく。

今年度、90%を超える英検の受験率に増加しているのも、その辺りの取組の成果として数字に表れているというふうに考えておるところでございます。

そのようなことを、今後はしっかりとデータで各学校に示せるように、小さい学校が多いとどうしても、客観的に自分たちの学校の子供を見ることができないことがございますので、市としてデータをしっかり収集して、市教委から各学校にしっかりと、データをもとにアドバイスができるような収集と分析、そういったことにも力を入れてまいりたいと思っております。

以上でございます。

## 教育長 南 順子

それでは今の学校教育課からの説明につきまして、御質問や御意見がありましたらお願いいたします。

ホームページ等にはもう、掲載はされてるということですが、御覧になれまして、もし何かお気づき等がありましたらお願いいたします。

資料には教科に関する結果と、それから児童生徒質問紙についての結果等も、掲載されております。

このあたりで御質問とか御意見とかまた御提案とかそういうことがございましたら、お願い出来たらと思っておりますが、いかがでしょうか。

司会者が意見を言って申し訳ないのですが、児童生徒質問紙の調査結果のところ、望ましい状況として上がってるのでいいんですけども、今日も菊池先生の御指導にありましたが、とにかくお互いによく話して意見のよさを生か

しながら解決を決めていくということは、1番上が美祢市、そして山口県、全国というふうに、グラフは、そうなっておりますよね。だから、美祢市は、これが当てはまるが、大体40%と考えていいわけですね。

あとどちらかというところで8割ちょっとの子供たちがそういうふうに捉えて、いいわけですね。

はい。そういう人が困っているときに進んで助けているかよくお互いに認め合い助け合いということを申しますけれども、このことを言って当てはまるのは、これは、小学校中学校大体9割ですね。

全体的に美祢市としてはいい傾向にあるので、さらに各学校で指導を進めていく中で今、特に美東小中学校の小学部の統合等が入ってる中で、やっぱり3校から集まってきたときに、いろいろお互い違って当然、それを受入れて、お互いにそしてまた励まし合って高めていくっていうことにつきましては、ぜひ、学校と連携をして、また家庭、保護者とも連携をしながら委員会としても、悲しむ子がいないように誰もが3校が一緒によかったと言えるようにしていきたいというふうに考えております。

#### **教育長 南 順子**

この件につきましてはよろしいでしょうか。

はい。続きまして生涯学習スポーツ推進課、お願いいたします。

はい、野村課長。

#### **生涯学習スポーツ推進課長 野村 一守**

生涯学習スポーツ推進課から、今後の行事等につきましてお知らせをいたします。

美祢市駅伝競走大会についてでございます。

12月の3日の日曜日にマツダの美祢試験場のほうで開催をする予定としております。

10月の10日に、実行委員会を終えまして、内容を決定したところでございます。

令和4年度は47チームの参加がございました。過去のチーム、参加したチームへの案内、それから、各学校への案内等、参加募集を今かけておる状況でございますのでお知らせをいたします。

それから、ここには書いておりませんが、前回の教育委員会会議のときにお知らせをいたしました市民大学講座でございます。

11月の25日の土曜日にさかなクンを講師にお招きしまして開催をする予定としておりますが、実は本日が締切日となっております。

定員を700名として募集をかけたところなんですけれども、今現在で650人の応募があるところでございます。

もしかしたらというふうにちょっと恐れていたんですけど、抽せんになっ

たらどうしようというところも考えておりましたが、この状況でいけば、抽せんをせずに、皆さん、受講いただけるというふうに安心をしております。

ただ、当日なんですけれど、11月25日は、まだ、市民会館のトイレの改修をしております、ロビーから入ることがちょっと厳しいというところで、このあたり、大ホールの横からですね、入るようになろうかと思うんですけれど、その辺り人数が多いですので、会場が混乱しないように、誘導等を努め計画をしていきたいというふうに考えております。

以上報告でございました。

## **教育長 南 順子**

今2点ほど報告がございましたが御質問と御意見ありましたらお願いいたします。

はい、それでは続きまして文化財保護課のほうからお願いいたします。

神田課長。

## **文化財保護課長 神田 高宏**

はい、それでは文化財保護課からは、3点御報告させていただきます。

一つ目の特別天然記念物秋芳洞再生事業評価委員会についてでございます。

10月16日の月曜日に、令和5年度第2回特別天然記念物秋芳洞再生事業評価委員会が開催されました。

当日は、午前中に秋芳洞内の試行箇所を確認いたしまして、午後、委員会を開催いたしております。

委員会におきましては、事務局から洞内の照明照度測定結果の報告や、委員による試行箇所の経過報告、来年度作成するガイドラインの案について協議を行っております。

続きまして2点目ですけれど、美祢層群から採取された昆虫化石についてでございます。

美祢市大嶺町で採取された化石5点が、新属、新種、かつ、日本最古のアミメカゲロウ目化石であるということ。また、うち2点は、分類学の科のレベルで世界最古であることが確認されました。

これは、昭和62年から平成2年に行われた、国道435号線の道路工事の際に、採取いたしました化石を、現在、パリ古生物学研究センターで働いております大山博士が、海外の研究者とともに研究を進めた結果判明したものであります。

大山博士は、山口大学在学中の平成28年にジオパークの研究活動補助金を申請し、美祢の昆虫化石を研究しておりました。

こういったことも今回の発見につながったのではないかと考えております。

今回の発見につきましては、10月31日に記者発表を行うこととしております。

これにつきましてアミメカゲロウとはどんなものかということで、資料を持ってきました。ちょっと見づらいんですけど5つほどあります。

これをですね大きくしたのがこちらで、非常に分かりづらいんですけど、下に5ミリというスケールが入っております。

アミメカゲロウの羽の化石なんですけど、この筋というか葉脈のようなもので分類をすると聞いております。

もう一つ、こっちのほうがちょっと分かりやすいですかね。

実は美祢市にあります美祢層群というのは、三畳紀といいまして約2億年位前の昆虫化石が非常にたくさん産出します。

世界的にも非常にたくさん産出するところでありまして、今回ずっと研究してこられたことが実を結んだということではないかと考えております。

またですね、10月の31日には記者発表して、その展示等にも生かしていきたいと考えております。

続きまして、三つ目報告ですが、第16回銅山まつりについて御報告いたします。

10月22日の日曜日の長登銅山文化交流館におきまして、第16回銅山まつりが開催されました。

先ほど教育長も申されましたが、当日は、美東中生徒によります古代銅鉱石を採取していた、大切4号坑と明治、大正時代の製錬所跡である花の山製錬跡のガイドツアー、また、フイゴ踏み体験などを行っております。

そのほか、キッチンカーや各種バザーなど開催いたしまして、多くの人でにぎわいました。

銅山まつりのメイン行事であります製錬実験では、製錬炉の中に、銅鉱石、木炭を交互に投入し、フイゴで空気を送り込み1,000度以上に熱して、銅鉱石を溶かして、銅を取り出す作業を行いました。

今回は炉づくりの作業から、製錬実験の様子を映像で記録しており、実験の検証や銅製錬実験の再現性に役立つものと考えております。

こちらにつきましても、まだ編集ができていないのですが、製錬実験の様子動画がございますので、こんな感じなんだよっていうのをちょっと見ていただけたらと思います。

これは中学生が、製錬炉の中に鉱石と木炭を入れている状況ですね。

これはフイゴと言いまして、もののけ姫で出てくる、踏んで空気を送り込む装置です。

こちらは、鉱石とか、木炭を入れている様子ですね。

酸素の量とか、燃えているものによって炎の色が変わってまいります。

こういう色を見ながらですね、今ちょっと空気が足りないねとか、もうちょっと鉱石を入れたらいいんじゃないのっていうのを話し合いながらやっていま

す。

これはカラミと申しまして、製錬滓ですね。実はこの下のほうにはもう銅がたまっておりまして、今これ流れ出てきているのは、カラミっていう製錬のカスで、ガラスと鉄が結びついたものが、流れ出ている様子になります。

1,000度以上に温度を上げておりますので、周りは非常に暑いんです。こういった感じで銅の製錬実験を行っております。

翌日には研究者の方とうちのスタッフと立会いまして製錬炉を割って、下のほうの銅を取り出したという報告を受けております。

文化財保護課からは以上です。

### **教育長 南 順子**

はい。貴重な映像等ありがとうございました。

もし何か御質問等がありましたらお願いいたします。

銅の製錬実験については、銅山まつりは16回だけども今回で20回目ということで、かなり前から行われていましたけれども、この度が一番上手くいったというふうに聞きました。

### **文化財保護課長 神田 高宏**

はい、このとき、指導に九州大学の井沢先生が当たられたんですが、井沢先生がおっしゃるには、非常に、うまくいったというふうにおっしゃられておりました。

翌日の銅を取り出すところには私行っていないので、最終的な評価は聞いておりません。

### **教育長 南 順子**

はい、御心配でございます。大変な準備等がありましたけれどもいろんな方々の御協力で、無事怪我もなく、祭りを終えることが出来ました。

本当に御心配ございました。

よろしゅうございますでしょうか。

次に行かせていただきます。

世界ジオパーク推進課神田課長。

### **世界ジオパーク推進課長 神田 高宏**

はい。それでは世界ジオパーク推進課からは、3点御報告させていただきます。

まず一つ目ですが、第13回日本ジオパーク全国大会関東大会についてでございます。10月27日から29日にかけてまして、千葉県銚子ジオパーク、埼玉県

秩父ジオパークを会場に、第13回日本ジオパーク全国大会関東大会が開催されます。

大会には市長をはじめ、中島学校教育課長、ジオパーク推進協議会の事務局、ジオガイドが参加いたしまして、各種分科会において各ジオパークの先進事例、また取組内容等について情報を共有し、それぞれのジオパークに持ち帰ります。

今回、全国大会には、大嶺中の3年生3名が参加いたします。ユースセッションに参加するとともに、私たちのジオパーク学習、学習管理、学習カリキュラムマネジメントというタイトルで、全国の中学生の前で発表いたします。

大嶺中学校では、3年間で、美祢市の三つの宝である、黒の石炭、白の石灰、赤の銅を通して地球の活動によって出来た鉱物資源が、どのように自分たちの生活に関わっているか、美祢市の発展をどのように支えてきたのかということを学習しています。

三つの宝を次世代に伝え、多くの人に知ってもらうためにはどうしたらよいのか、さらに学びを広げ深めていくために、カリキュラムマネジメントを見直してみようという内容となっております。

中学生にとっては、自分たちの考えを相手に伝え、さらにディスカッションするという、非常にいい機会になるのではないかと考えております。

続きまして二つ目です。ベトナムドンヴァンカルスト台地ユネスコ世界ジオパークとの連携協定締結についてでございます。

11月の6日から11日にかけて、ベトナムへ渡航いたしまして、ドンヴァンカルスト台地ユネスコ世界ジオパークとMine秋吉台ジオパーク推進協議会の連携協定を締結いたします。

Mine秋吉台ジオパークからは、協議会学識顧問である山口大学の脇田先生、ジオパーク推進課の井上主事、国際交流員のウィルソン、そして私、それと、ジオガイド5名が参加いたします。

ドンヴァンカルスト台地ユネスコ世界ジオパークは、ベトナムの北部、中国と国境を接するハザン省というところに位置しておりまして、ジオパークの約60%が美祢市と同じカルスト地形でございます。

平成22年にベトナム初のジオパークとして認定されまして、少数民族の文化や伝統を守る活動が高く評価されております。

ドンヴァンカルスト台地ユネスコ世界ジオパークとの連携を結ぶことによりまして、協力関係を強化し合同イベントの開催、学生の教育活動、オンラインツアーの企画等を通して、国際交流の場をより多く提供いたしまして、美祢市の子供たちが海外に触れる機会を増やすことで、グローバルな人材を育成し、美祢市に対する愛着心を育むことを目的に交流を進めたいと考えております。

今回渡航した時に、ジオガイドとベトナムの中学生の交流を予定しております。

12月にはその中学生と、美祢青嶺高校のオンライン交流を計画しているところではあります。

3点目ですが、M i n e 秋吉台ジオパーク再認定審査についてでございます。11月25日から28日にかけて、ジオパークの4年に1度の再審査が行われます。

再審査は、日本ジオパーク委員会の委員が2名審査員として来られます。

再審査では、現地視察、ジオパークの活動をしている団体やジオガイドとの意見交換のほか、再審査の申請書に当たる、前回審査から、この4年間の活動を記しましたプログレスレポートや自己評価表において、M i n e 秋吉台ジオパークの保全活動、研究活動、教育活動、普及活動などをチェックいたします。

結果は、12月14日の日本ジオパーク委員会で発表されることとなっております。

ジオパーク推進課からは以上でございます。

### **教育長 南 順子**

はい。たくさんの大きな行事がございますけれども今の御説明につきまして、質問とかございましたらお願いいたします。

よろしいでしょうか。

### **教育委員からの提案及び意見**

#### **教育長 南 順子**

ありがとうございました。

続きまして今度は7番の教育委員の皆様方からの御提案とか御意見です。

せっかくの機会です。いろいろな学校訪問等もありまして本当に申し訳ございませんが何かお気づきとか、御提案等がございましたら、お願い出来たらと思います。

#### **教育長 南 順子**

はい、教育委員の皆様方からございませんでしょうか。

事務局の方よろしゅうございますか。

はい、じゃ、ちょうど今、会議が始まって1時間経ちました。

本当に今日は朝から早朝からお疲れでございました。

はい、ないようでしたら、事務局のほうに返したいと思います。

よろしくお願いいたします。

## 次回の教育委員会会議の開催予定

事務局長 千々松 雅幸

それでは8番目、11月の定例会議についてであります。

11月28日、火曜日、13時30分から新庁舎の301号室、3階でございます。

日程につきましてよろしゅうございますでしょうか。

<全員了承>

## 閉会

事務局長 千々松 雅幸

はい、それでは以上をもちまして10月の定例教育委員会会議を閉じたいというふうに思います。

皆さん大変お疲れでございました。

(午後3時00分終了)

令和 年 月 日

教育長

委員

委員

会議録作成